

【3-2】日常生活支え合い実践事業

## 地域ふれあい活動拠点整備事業

( 南越前町 )

### 基礎情報

実施地域 南越前町今庄地域  
実施主体 特定非営利活動法人 今庄旅籠塾  
所在地 南越前町今庄第75号13番地  
代表者 理事長 高嶋秀夫



### 平成23年度の事業概要

まちづくりと賑わいづくりのために、当NPO法人が借用している建物(旧旅籠宿「若狭屋」)を今庄地区の高齢者のつどいや今庄を訪れた人への休憩所等に提供していたが、当該建物には使用できるトイレがなく、近隣のトイレを借用しており、高齢者等地域住民が気軽に利用できない状況にあった。

旧旅籠宿を改修(多目的トイレ等)し、地域住民が気軽に集える施設として、多目的トイレ(男女障害者兼用)1台・男性用便器1台・手洗いを整備した。

### 現在の活動状況

地域住民が気軽に集える施設として、年間を通じ、毎週土日・祝日に自由に集える場所として開放(会員の当番制)。

現在、通年開放をめざしている。

5～10月：野菜夕市(毎週水曜日15時～)の場所の提供。

6月：地区高齢者の集いを開催 参加者約30人。

9月：今庄地区イベント街道浪漫において、ふれあいの場提供。そば店などが開かれた。

そば好きの若い年代の人たちや高齢者も多数訪れた。

3月：手作りパンとコーヒーのカフェをオープン予定

(旅籠塾において、パンを焼き、入れたてのコーヒーを提供)

その他

今庄宿の歴史や今庄旅籠塾の活動についての講演を地区や町内外で実施している。

### 事業の実績、成果

トイレを整備することにより、高齢者や地域住民がより快適に集える施設となった。念願の通年開放を3月を目途に取り組みしており、住民相互のふれあいの場として有効に活用されている。

### 工夫した点

自由に集える場所として開放（会員の当番制）するにあたり、皆で協力して行っている。  
定例会を設けて活動内容を検討したり、そば打ち会をしたりして親睦を深め、自発的な楽しい活動ができるようにしている。



### 事業の財源

- ・平成23年度地域支え合い体制づくり事業補助金により洋式トイレを設置
- ・他の設備については会員等の協力で整え、経常経費については、会費、講演料や募金(協力)などで賄っている。

### 課題

イベントや集いや野菜夕市のときは利用が多いが、普段は高齢者の利用が少ない。

### 今後の目標

今庄宿の歴史を伝え、地域に根付いた地道な活動を守り育て、地域住民がふらっと立ち寄れるコミュニティの場づくりに努めたい。

地域の活性化は、住んでいる自分たちが取り組むべきだということを内外に伝えていきたい。

### 団体からのメッセージ

今庄地域には、まだまだ住民同士の思いやりやつながりがありますが、それでも地域のつながりが薄れつつあります。だからこそ、住民のコミュニティの場づくりが大切だという思いで活動していますが、皆が楽しんでできることがよいと思います。